

# JB NEWS

岡山県立岡山城東高校男子バスケットボール部通信  
 発行者 バスケットボール部顧問 藤田 美絵  
 発行日 2014年6月19日  
**No. 20**

去る6月1日(日)・2日(月)、3年生の集大成である第69回岡山県高等学校バスケットボール選手権大会(県総体)に右のメンバーで挑みました。

## 1 回戦：水島工業

スタートアップは4：重光，5：黒崎，7：大寺，8：赤木，18：山野だった。先制点でゲームの流れを引き寄せたかったが、開始数分間は両チームともノーゴールで、堅く緊張した感じでゲームがスタートした。でも、やはりキャプテン重光悠雅(西大寺)がその緊張感を破ってくれた。重光のドライブから得点が動き始めた。しかし、あんなにゴール下が入らないゲームは久々だった。肩に力が入っているのか、ゴールの後ろに壁がない感覚に慣れていないのか、とにかくゴール下が鬼門だった。いつもはおもしろいように決まる大寺優輝(旭東)の速攻もなかなかでず、シュートにもたついていると、3ピリオドでは7点差にまでリードが縮まってしまった。しかし、ここで集中力を切らすような練習はしていない。もう一度、練習してきたディフェンスをやり続け、3年生の意地を最後のピリオドで見せた。コート上に立つと、監督の信頼を絶対に裏切らない富岡亮太(富山)のパス&ランプレーも見れたし、キャプテンをずっと支え続けてきた岩藤大和(興除)のブザービートも見れたし、終わってみれば、城東らしいゲームだった。

No.	氏名	出身中
4	重光悠雅	西大寺
5	黒崎穂高	旭東
6	岩藤大和	興除
7	大寺優輝	旭東
8	赤木晴哉	上南
9	富岡亮太	富山
10	關 祐人	ロンドン日本人
11	寺田蒼生	福岡香椎第3
12	後藤雅弥	伊里
13	山崎敦広	山南
14	尾上 潤	高陽
15	的野隼人	伊里
16	森本健志郎	上南
17	守屋 慧	富山
18	山野稜太	磐梨
マネ	木村高将	備前

71 城東  $\left\{ \begin{array}{l} 18-16 \\ 19-8 \\ 10-16 \\ 24-6 \end{array} \right\}$  46 水島工業



## 2 回戦：学芸館

● 決戦前に、赤木晴哉(上南)の足首は尋常ではないほど腫れていた。これで走れるのかと思いつながりながらテーピングを祈るような気持ちで巻いて、ゲームがスタートした。相手は予想以上に大きく、力強かった。急激な成長をしている山野稜太(磐梨)が、なかなかゴール下でシュートを打たせてもらえない。さらに、城東バスケのディフェンスの要である大寺優輝(旭東)が簡単に破られてしまう…。前半は打開策を見つけられないまま終わった。しかし、やはり考えるバスケをやり続けてきたメンバーである。3ピリオドから、山野がミドルシュートに切り替えたり、原点に戻って大寺が速攻を出し始めたり、城東らしいバスケが随所で見られるようになってきた。そして頭が下がる意地を見せたのが赤木だった。自分の最も得意な空間に飛び込んできてはジャンプシュートやステップインを果敢に狙う。そしてフリースローをもらって確実に決める。見事だった。その赤木に懸命にパスを出し続ける



黒崎穂高(旭東)にも頭が下がった。「あのとき打っておけば良かった」と悔いることのないようにシュートを打てと指示をしていた黒崎も、4ピリオドに彼らしい3ポイントシュートを決めた。しかし、結果は完敗。ここから、また出直そうと思う。

66 城東  $\left\{ \begin{array}{l} 12-27 \\ 11-26 \\ 18-25 \\ 25-14 \end{array} \right\}$  92 学芸館

↓1年～3年次全員大集合!!



重光悠雅(西大寺)と黒崎穂高(旭東)が率いるこのチームは、岡山県ベスト4という目標を掲げてスタートを切った。入部人数が多く、声が出せる陽気なメンバーの集まりで、非常に面白い集団だった。勝利するにはまず形から…ということ、そろいのTシャツをつくったのもこの学年だった。色々な事情でバスケを続けられない仲間を支え続け、いつでも戻ってこれる真面目な雰囲気を作り続けたのもこの学年だった。昨年の3年生からのキャプテン指名を重光が受けたとき“困惑しています”という言葉でスタートしたが、そのキャプテンが心配りとひたむきさで見事にまとめたチームができあがった。3年生がバスケットボールを離れて約2週間経つ。昼休みの体育館に3年生の自主連姿が見られないことが寂しい気もするが、学校内や授業で見かける3年生の表情は、バスケットボールの練習中や、コートに立っているときと同じだ。良い表情をしている。バスケットボールでの目標は達成していないが、まだまだ人生で目標を掲げて、それを達成するために努力を積む体験は何度もするだろう。そのときに、『どういう状況で、問題点は何で、どこを修正するかということを考えて動く』という経験をしている3年生は強い。そして何よりも『あきらめない』という気持ちを持って生活する人間は強い。自信を持って、受験にも闘いを挑め!!全力で応援します。